

# Sailing Team Japan Newsletter

## 2013年8月 Vol. 2



1. 選手強化体制
2. 4-8月ユースナショナルチーム海外遠征報告
3. 4-8月ナショナルチーム海外遠征報告
4. レーザークラスについて
5. 下半期強化スケジュール

Newsletter Vol. 2をお届けいたします。

Vol. 1で2013年ナショナルチーム選手をご報告いたしました。

Vol. 2ではリオに向けてのオリンピック強化委員会の体制をご紹介します。

また、4月から8月までの海外遠征のご報告をいたします。

## 1. 選手強化体制

名 称：(公財)日本セーリング連盟オリンピック強化委員会

委員長：西岡 一正

### 《コーチングスタッフ》

- ・ ナショナルコーチ：中村 健次 470級、49er級 および全体総括担当
- ・ アシスタントナショナルコーチ：
  - 飯島 洋一 ユース東日本水域およびシングルハンド担当
- ・ JOC コーチングディレクター：
  - 中村 健一 ユース西日本担当
  - 鈴木 國央 ユース中日本担当
  - 重 由美子 420級担当、ユース育成・強化総括
  - 宮野 幹弘 ウィンドサーフィン担当
- ・ JOC 情報科学スタッフ：斎藤 愛子
- ・ JOC メディカルトレーナー：江口 典秀
- ・ マネジメント : 斎藤 渉
  - 中村 和哉
- ・ 各水域コーチ
- ・ オリンピック種目クラス別協会コーチ

## 2. ユースナショナルチーム海外遠征報告

U-22 までのユース世代の各種目世界選手権大会は学業を大切にす本文から毎年、夏休みに当たる7月を中心に開催されています。

日本選手は以下にご報告する6大会に参加、セーリング競技だけではなく各国の選手と交流を行なう中で貴重な体験を積んで参りました。

この様な経験を積むことで将来のトップアスリートが育つものと期待をしております。

### (1) ISAF ユースセーリングチャンピオンシップ2013

ISAF(世界セーリング連盟)が主催する U-19 世代の最も権威のある大会で男女別実施8種目に各国それぞれ1艇のみ参加が許される同世代のオリンピック大会と呼ぶにふさわしい大会です。日本は過去、420級男子で2回銀メダルを獲得しております。

開催期日:2013年7月13日-20日

開催場所:キプロス・リマソル

実施種目と参加艇数(1ヶ国1艇)

420級男子	31艇
420級女子	27艇
レーザーラジアル級男子	56艇
レーザーラジアル級女子	40艇
RS:X 級男子	28艇
RS:X 級女子	22艇

以上6種目は日本から参加

29er 級 Open	29艇
SL16級(カタマラン) Open	15艇

参加国総数	61ヶ国
参加総艇数	248艇



開会式の後には日本、イタリア、韓国の選手団が一同に会して記念撮影

・各クラス1-3位および日本選手成績

420:男子 31カ国 31艇

- 1位 TIAGO BRITO、ANDREI KNEIPP 【BRA】
- 2位 MATTEO PILATI、MICHELE CECCHIN 【ITA】
- 3位 DIOGO PEREIRA、PEDRO CRUZ 【POR】

日本選手の成績

- 4位 小泉 維吹、有岡 翼(山口県立光高等学校)



惜しくもメダルに届かなかった小泉・有岡組

420:女子 27カ国 27艇

- 1位 CARRIE SMITH、ELLA CLARK 【AUS】
- 2位 NADJA HORWITZ、CARMINA MALSH 【CHI】
- 3位 ILARIA PATERNOSTER BENEDETTA DI SALLE 【ITA】

日本選手の成績

- 19位 深沢 瑛里(函嶺白百合学園高等学校)、馬渡 凧沙(神奈川県立七里ガ浜高等学校)

Laser Radial:男子 56カ国 56艇

- 1位 JUANKY PERDOMO 【PUR】
- 2位 JOEL RODRIGUEZ 【ESP】
- 3位 SEBASTIEN SCHNEITE 【SUI】

日本選手の成績

- 42位 高山大智(和歌山県立星林高等学校)



レーザーラジアル級女子 多田

Laser Radial:女子 40カ国 40艇

- 1位 LINE FLEM HOST 【NOR】
- 2位 AGATA BARWINSKA 【POR】
- 3位 MONIKA MIKKOLA 【FIN】

日本選手の成績

- 30位 多田 緑(佐賀県立唐津西高等学校)

RS:X:男子 28カ国 28艇

- 1位 KIERAN MARTIN 【GBR】
- 2位 TUGARYEV OLEKSANDR 【UKR】
- 3位 RADOSLAW FURMANSKI 【POL】

日本選手の成績

- 23位 川崎 翼(NPO 法人京田辺シュタイナー学校)

RS:X:女子 22カ国 22艇

- 1位 LU YUNXIU 【CHN】
- 2位 MARTA MAGGETT 【ITA】
- 3位 SARA WENNEKES 【NED】

日本選手の成績

- 16位 原 百花(武庫川女子大学附属高等学校)



開会式恒例の「ウォーターセレモニー」  
“世界は一つ”の理念から各国が自国の水を持参、一つの壺にその水を入れるセレモニーが行われた

### 帯同した飯島洋一のコーチコメント

キプロスの海は決まって午後から心地よいシーブリーズが吹き始め、全クラス予定通りのレースが行われた。結果的に強風とまではいかないが、強めの風できちんと走れる選手が上位に入った。

420 男子の小泉・有岡組が良い走りを見せてメダル争いをしたが、惜しくも 4 位に終わった。そのほかのクラスは世界のレベルの高さを痛感させられた。

宿泊はリマソルのホテルに参加者全員が宿泊した。すべての食事を主催者が準備してくれていたため時間が有意義に使えた。食事も美味しく選手達も最後まできちんと食事をとっていた。1日 5 レースを行ない(女子、男子とチャーター艇を乗り回しの為)1日 8 時間近く海にいてもあり、我々スタッフ陣にとって過酷なレガッタとなった。選手も夜遅くホテルに戻り、次の日は早番といったサイクルもあり肉体的にも精神的にもタフさが要求されるレースとなった。選手達は其中でもコンディションに努め、疲れた顔一つせずに最終レースまで戦った。



悔しい思いを胸に次の挑戦を誓う日本代表選手 8 名と小菅コーチ



420 級女子優勝は日本との交流で 3 月に来日したオーストラリアのキャリーとエラ。イタリアとの激闘を制し念願の ISAF YOUTH WORLD 優勝を勝ち取りました

## (2) 420級世界選手権大会

2015年国民体育大会およびインターハイの実施種目に決定した420級の世界選手権大会がスペイン・バレンシアで開催され、日本より男女各7チーム28名の過去最大規模の選手団が参加しました。

開催期日:2013年7月22日-30日

開催場所:スペイン・バレンシア

参加国・艇数:男子 29ヶ国 110艇

女子 20ヶ国 77艇

### 男子7チーム

太中 賢・出口 廣智(慶應義塾高等学校)

小泉 維吹・有岡 翼(光高等学校)

岡田 奎樹・宮口 悠大(玄海セーリングクラブ)

榎原 隆太郎・楠瀬 和旺(玄海セーリングクラブ)

高竹 義樹・榎原 覚(広島セーリングスクール)

斉藤 道明・刈込 孝陽(福島県セーリング連盟)

仁井谷 和平・吉永 琢磨(琵琶湖ジュニア)

### 女子7チーム

元津 志緒・濱本 郁(長崎工業高等学校)

千葉 都・秋本 美桜(宮城県セーリング連盟)

力石 晶子・澤田 佳那(KGセーリング(関西学院大学))

中山 由紀美・池内 仁美(玄海セーリングクラブ)

深沢 瑛理・馬渡 凧沙(湘南白百合学園高校・七里ヶ浜高校)

村瀬 美里・石川 満里奈(広島セーリングスクール)

田中 美紗樹・高野 芹奈(関西大学第一高等学校・B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ)



総勢 28 名の日本選手団

## 最終総合成績

### 男子

- 1位 Xavler Antich/Pedro Terrones 【ESP】
- 2位 Tiago Brito/Andrei Kneipp 【BRA】
- 3位 Sebastien Simon/Pierre Rierre Rhimbault 【FRA】

10位の岡田、宮口組

### 日本選手の成績

- 10位 岡田 奎樹・宮口 悠大
- 19位 小泉 維吹・有岡 翼
- 69位 仁井谷 和平・吉永 琢磨
- 91位 榊原 隆太郎・楠瀬 和旺
- 99位 高竹 義樹・榎原 寛
- 103位 太中 賢・出口 廣智
- 107位 齊藤 道明・刈込 孝陽



### 女子

- 1位 Annabel Cattermole/Bryony Bennett 【GBR】
- 2位 Kimberly Lim/Savannash Siew 【SIN】
- 3位 Sara Scotto Di Vettimo/Vittoris Berbiero 【ITA】

健闘した深沢・馬渡組

### 日本選手の成績

- 26位 深沢 瑛理・馬渡 風沙
- 46位 中山 由紀美・池内 仁美
- 54位 田中 美紗樹・高野 芹奈
- 66位 力石 晶子・澤田 佳那
- 68位 千葉 都・秋本 美桜
- 74位 元津 志緒・濱本 郁
- 75位 村瀬 美里・石川 満里奈



### 帯同した重由美子チームリーダーのコメント

「長いコースでゆっくりとしたシフト。決してどちらかサイドが極端に有利ではないコンディション。この大会ではしっかり風のシフトに合わせて、タックをしていくことが大切でした。日本ではコースが短いから、シフトが一回で上マークに行ってしまう。そうした意味で経験が足りなかったのかもしれませんが、みんな本当によく頑張りました。補助対象選手はもちろん他の選手も予選で下位フリートに落ちても腐らず、日々上達していました。2015年世界選手権は日本の唐津で開催されます。ぜひ日本からワールドチャンプが出て欲しいものです。

今回は目標としていたメダル獲得には至りませんでした。男女ともに健闘する姿を見て今後 420 級がインターハイ、国体種目になり、皆が 420 に乗るようになれば近い将来、表彰台に日本人選手が上がる日も近いと思います。ただし、今回強く感じた「吹いた中での乗り込み」と「経験」を十分に積んだ条件付きです。

このパレンシアでの経験は参加選手の良い思い出となるに違いありません。

アパートでの共同生活。皆で協力した食事の準備。船が軽くて計測が通らず慌てて重りを載せて再計測をしたこと。長いコースと走りづらい波。ゆっくりとした周期変動の風などなど。海外遠征ならではの。

今回の参加選手は今後次のステージに上がる者、来年の 420 ワールドを目指す者、学業に専念する者、道はそれぞれです。パレンシアの海でのセーリングは彼らに大きな経験を与え、すべてが次のステップに役立つことばかりでした。さらなる飛躍に期待したいと思います。

### (3)470級ジュニア世界選手権

U-22を対象とした470級ジュニア世界選手権大会が同クラス 50周年記念世界選手権大会が開催される直前フランス・ラ・ロッシュェルにて29日-8月3日まで開催され、日本から選考会を勝ち抜いた大学生男子2チームが参加いたしました。

今回、日本チームは両チームの自艇を積んだ大型外航コンテナ船が洋上で沈没する予期せぬアクシデントにみまわれ、急遽チャーターボートを手配し大会に臨みました。

さらにその到着が3日遅れなど準備に遅れは出ましたが、何とか大会に間に合い、少しの時間でしたが事前の海上での練習調整も行うことができました。

#### 470級ジュニア世界選手権大会

開催期日:2013年7月29日-8月3日

開催場所:フランス・ラロッシュェル

参加国・艇数:男子 29ヶ国 110艇

女子 20ヶ国 77艇

#### ●日本代表選手:男子(2チーム)

岩下 哲也・石井 祐典 (日本経済大学)

中村 陸宏・清原 遼 (日本大学)

事前練習中の日本チーム



#### 最終成績

25カ国 59艇

1位 XAMMAR Jordi/ HERP Joan 【GRE】

2位 COHEN Gal /FROYLICHE Dan 【ISL】

3位 AUTENRIETH Julian/ CIPRA Matti 【GER】

#### 日本選手の成績

15位 中村陸宏・清原 遼(日本大学)

23位 岩下哲也・石井祐典(日本経済大学)

日本の2チームは中風域ではレースを重ねるごとに世界と対等に戦えましたが、強風域では課題を残す結果となりました。



#### 帯同した中村健一コーチのコメント

残念ながら、日本チームはメダルレースに進出・出場することができませんでした。世界の壁は大学生代表でさえ大きな壁となって立ちはだかる結果となりました。

大会を通じて感じたことは、中風域ではレースを重ねるたびに世界と対等に戦える力があることが確認できましたが、強風域では次の6つの項目

- ボートハンドリング
- ピンチモードでのボートバランス
- セールトリム
- ボディパンピング(クローズ)
- メンタルコントロール
- ロングコースでのタクティクス

が大きな課題となっています。この課題を日本に持ち帰り、強化していくことと、世界で経験したことを多くの同世代セーラーに伝えてほしいと思います。

次世代の五輪日本代表候補選手として彼らのこれからの活躍に期待します。

今大会を通じ、我々日本チームは貴重な経験と教訓を得ることができました。

引き続き参加する同じ場所での470級世界選手権でさらに強い選手達に挑戦することになります。

今回学んだことを糧に集中力と勝負への執念を燃やして果敢に戦ってほしいと願っています。



レース中の日本2チーム

#### (4)レーザー級 U-21 世界選手権大会

U-21 を対象としたレーザー級世界選手権大会が7月15日-21日ハンガリーのバラトン湖で開催され、日本からラジアル級女子2名、スタンダード級男子1名が参加いたしました。

##### ●日本代表選手

レーザーラジアル級 土居 愛実(慶応義塾大学)  
多田 桃子(多田屋)

レーザースタンダード級 北村 勇一朗(聖隷クリストファー高等学校)

今回の世界選手権は帯同コーチが無しのいわば武者修行の遠征となりました。

3 選手ともいつもと違い、帯同コーチいない中すべて自分たちだけで遠征全般をこなさなければならないという煩わしさが伴いましたが、そこは 3 名ともこれまで何回も海外遠征を体験してこともあり、持ち前の向上心を発揮、意欲的に武者修行レガッタを無事完遂しました。



レース中の土居 愛実

#### 土居愛実 惜しくもメダル逃す

大会は微風、軽風に終始する大会でした。

3 選手とも現在のそれぞれの競争力を計る意義ある大会遠征となりました。

レーザーラジアル級には31 か国から91 艇が参加しました。ロンドン代表の土居はその実力をいかに発揮して、全7レースを15-(16)-7-3-6-1-5と走り、メダル獲得には惜しくも4点足りませんでした。堂々の4位入賞を果たしました。勝負強さは健在です。

風邪が無く暑いなか陸上待機中の土居、北村



## 総合成績

・レーザージャリアル級:31カ国 91艇 日本から2艇

1位 Svenja Weger 【GER】

2位 Niki Blässar 【FIN】

3位 Claretta Tempesti【ITA】

### 日本選手の成績

4位 土居 愛実

44位 多田 桃子

### ・レーザースタANDARD級

レーザースタANDARD級に出場した北村(U-19)は138艇という大フリートに挑戦、決勝シリーズではシルバーフリート(上位グループの次のグループ)になりましたが、全レースを(56)-33-40-20-44-50-38で走り、U21のカテゴリーでは96位、U-19では53艇中35位に入りました。



大会オフィシャルカメラマンが水中から写した土居のレース中

## (5)レーザー4.7 級ユース世界選手権大会

47 か国、373 艇参加のレーザー4.7 級ユース世界選手権が7月8日-13日ハンガリーのバラトン湖で開催され日本から男子3名、女子3名の計6名が参加しました。

373 艇というエントリー数はレーザー4.7 が普及し始めてから最大の規模であり、またユースの国際大会としても最大規模となりました。将来の五輪メダリストやアメリカズカップ、世界一周レースのチャンピオン達がここから生まれていくのでしょうか。「シングルハンドの源ここにあり」という期待に満ちた大会となりました。

開会式



### 男子

村上 義龍(熊本県立宇土高等学校ヨット部)

藤本 拳(江の島ヨットクラブジュニア)

岩城 海都(鹿児島ジュニアヨットクラブ)

### 女子

岸 祐花(湘南ジュニアクラブ)

遠藤 紅葉(ユースチーム東京)

鄭 愛梨(B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ)

日本選手団 6名



## 総合成績

### U18:男子

46 カ国 247 艇

1 位 Cetin Anil 【TUR】

2 位 Vадnai Jonatan 【HUN】

3 位 Nicholas Conor 【AUS】

#### 日本選手の成績

72 位 岩城 海都

77 位 村上 義達

108 位 藤本 拳

### U16:男子 (U18 と同時開催)

37 カ国 108 艇

1 位 Vадnai Jonatan 【HUN】

2 位 Nicholas Conor 【AUS】

3 位 Chin Bernie Cheok Khoon【SIN】

#### 日本選手の成績

24 位 岩城 海都

### U18:女子

32 カ国 130 艇

1 位 Morales Gonzalez Silvia 【ESP】

2 位 Kwasna Magdalena 【POL】

3 位 Capparuccini Sofia 【ITA】

#### 日本選手の成績

14 位 遠藤 紅葉

31 位 鄭 愛梨

87 位 岸 祐花



レース海面に向かう遠藤

#### 帯同した齋藤愛子コーチのコメント

欧米の選手達が 4.7 に乗る期間は短く『OP に乗るには体格が大きすぎる』ユースセーラーが 13 歳くらいから『ステップアップで 4.7 に乗り』、そこから『ダブルハンドやラジアルへ』と上がっていきます。今回、日本から参加した岩城もすでに身長が 175cm あり、OP の北米選手権に出場するのを辞退して 4.7 の大会に来ました。藤本も 180cm あります。

各国この年代の選手には、『教え込むことをせず、選手が自分で考える能力を養うように意識づけ』をしています。初めての大舞台で選手の表情は変化し続けます。集中が途切れることも多々あります。それでも、『自分で乗り切る力を養い、強くなれる選手かそうでないか』のふるいにかける場のように感じました。

#### U-18 男子表彰式



#### U-18 女子表彰式



\* 来年 7 月日本(唐津)で開催される世界選手権で日本選手が表彰台に乗ることをご期待して下さい

## (6)テクノ293級ユース世界選手権大会

男子29ヶ国 159名 女子11ヶ国28名 が参加したテクノ293級ユース世界選手権大会が7月29日-8月3日までポーランド・ソポトで開催され日本から男女各1名が参加いたしました。

テクノ293級は2014年中国南京で行われるユースオリンピックの実施種目であり、その参加国枠を獲得するためのクオリファイ(予選)が掛かった重要な大会でもありました。また同クラスは日本のインカレの種目でもあり8名の大学選手も「テクノ293プラス」のカテゴリーに参加いたしました。

### ●ユース日本代表選手

男子 池田 健星(神奈川県逗子市立久木中学校3年生)

女子 新嶋 莉奈(横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉中学2年生)

レース中の男子池田



アジアから参加の各国と選手と記念撮影



## 総合成績

種目:男子 TECHNO293 U-17

29カ国 159艇

- 1位 Elmeleh Ofek 【ISR】
- 2位 Kikabhoy Rafeek 【HKG】
- 3位 Tsirkun Mikita 【BLR】

### 日本選手の成績

20位 池田健星

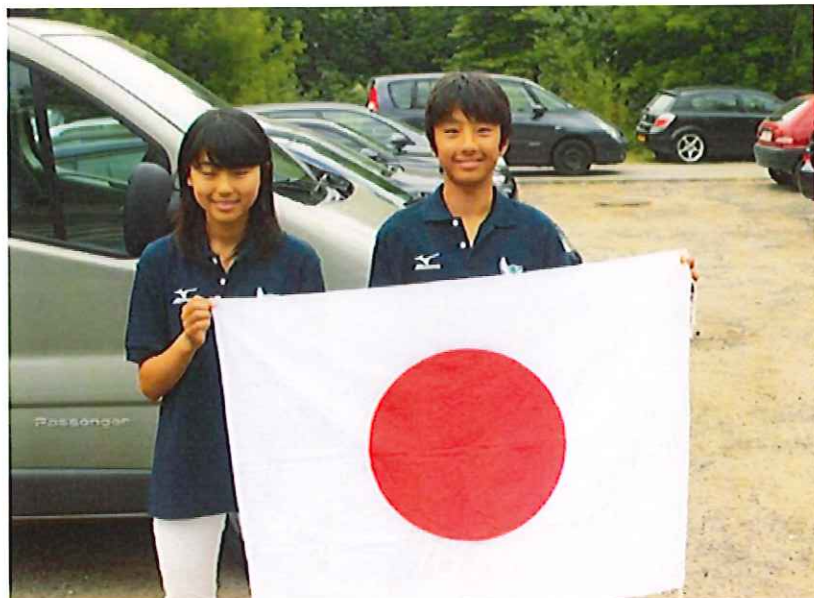
種目:女子 TECHNO293 U-15

11カ国 28艇

- 1位 Speciale Giorgia 【ITA】
- 2位 Spychakov Katy 【ISR】
- 3位 Montaut Océane 【FRA】

### 日本選手の成績

10位 新嶋 莉奈



池田、新嶋両選手

### 帯同した宮野幹弘コーチのコメント

今大会、ふたりの子どもたちの日々の成長には正直驚かされました。池田は上級生たちと体も大きさも違う選手たちと戦い、初めはまるで太刀打ちできませんでしたが、日に日に戦えるようになり、シングルを走れるようにまできてきました。2回のシングルは特筆ものです。国際大会での成果です。来年はこのクラスでメダルが取れるように今回学んだことをしっかり練習して行ってほしいと思います。

新嶋の進化に関してはさらに驚かされました。3月まではパンピングもやっとだった選手が、この4か月間練習を続け、今回の順位を取れるようになりました。大したものです。よいポテンシャルを持っている証拠です。さらなる飛躍をし、ユースオリンピック国枠獲得に期待します。

## 2014年8月南京開催のユースオリンピック参加国枠獲得に向けて

ユースオリンピックは2010年IOCロゲ会長(フィン級オリンピック選手)の提唱で始まった大会で陸上、水泳、セーリング等26競技が実施されます。

また競技以外に各種教育プログラムも行われます。

第1回のシンガポール大会では各国のブースが設けられ、同国在留邦人の同年代の子供日本の紹介を行ないました、またオリンピックメダリストを囲むシンポジウム等が開催され、参加選手達は各国の文化に触れる事が出来有意義な時間を過ごすことができました。

セーリングの参加対象年齢は15、16歳でテクノ293級とバイト級(一人乗りヨット)の2種目が開催されます。

アジアからの参加枠はテクノ293級は3ヶ国、バイト級は4ヶ国となっておりテクノ293は2014年1月シンガポールで開催される同クラスアジア選手権の成績で、またバイト級は同2月にマレーシアで開催されるアジア選手権の成績で決定されます。

### 3. ナショナルチーム海外遠征報告

例年4月初旬からプリンセスソフィア(スペイン)、イエール(フランス)等への海外遠征をナショナルチーム強化事業として実施していましたが本年度はオリンピック翌年ということもあり一部選手が自主的に参加したにとどまり、8月までの強化事業は470級世界選手権、49er、RS:X 両クラスのヨーロッパ選手権の3レガッタに参加しました。

#### (1) 470級世界選手権大会

470級誕生50周年になる記念大会が、8月1日-10日470級が設計・誕生したフランスで華々しく開催されました。

470級がオリンピックに採用されたのは1976年モントリオールからで、現在のオリンピック競技種目の中ではフィン級に続く歴史あるクラスであることから、世界中で愛され親しまれているクラスとして確固たる存在感を示している証しです。

記念大会は470の一大イベントとして構成され、ジュニアとマスターズ世界選手権、これまでの世界選手権チャンピオンやオリンピック金メダリストのみが参加できる「Regends' TROPHY」が連続的に生まれ、そのハイライトとなるこの470級世界選手権大会2013には男女170艇、が参加いたしました。

開催期日:2013年7月22日-30日

開催場所:フランス・ラ ロッシュェル

参加国・艇数:男子 36ヶ国 117艇

女子 27ヶ国 53艇



ラ・ロッシュェル旧ハーバーのフィニッシュと470旗

#### ●日本代表選手

##### ◆男子(5チーム)

松永鉄也・吉田雄悟(チームスリーボンド)NT

土居一斗・今村公彦(アビームコンサルティングチーム)NT

岩下哲也・石井祐典組(日本経済大学)ジュニア代表

中村陸宏・清原 遼組(日本大学)ジュニア代表

澤村和慶・橋口修三組(九州旅客鉄道株式会社/日本経済大学)一般

##### ◆女子(1チーム)

吉田愛・吉岡美帆(ベネッセコーポレーション)

男子は二人のオリンピック松永(北京代表)・吉田(ロンドン代表)組、若手成長株の土居と2度目の五輪キャンペーンを始めている今村組、ジュニアワールド代表の大学生チーム岩下・石井組、中村・清原組、一般参加で世界に挑戦する澤村・橋口組の5組。女子は4月からキャンペーンを開始吉田(旧姓:近藤)・吉岡組以上6チーム、いずれも次期リオ五輪、はたまた2020五輪を狙う“つわものたち”です。

50年の歴史を物語るアンテックな470





今大会に参加するため、日本から470級5艇をコンテナ船で運びましたが、運搬途中にそのコンテナ船が沈没するという海難事故に遭い、全艇を失ってしまいました。しかし、選手たちはチャーターしてでも大会に参加したいとの強い意志で参加しました。大会を前にしてチャーター艇ゆえのいろいろなトラブルが起こり、チームによってはベストな状態でレースに臨めなかった事が残念です。

#### 総合成績

##### ◆男子

- 1位 BELCHER Mat, RYAN Will 【AUS】
- 2位 LEBOUCHER Pierre, LE BERRE Nicolas 【FRA】
- 3位 NANTIS Panglotis, KAGIALIS Pavlos 【GRE】

##### 日本選手の成績

- 13位、松永・吉田組
- 26位、土居・今村組
- 63位、澤村・橋口組
- 71位 中村・清原組
- 73位、岩下・石井組

##### ◆女子

- 1位 ALEH Jo, POWRIE Polly 【NZL】
- 2位 VADLAU Lara, OGAR Jolanta 【AUT】
- 3位 WANG Xiaoli, HUANG Xufeng 【CHN】

##### 日本選手の成績

- 10位、吉田・吉岡組

松永・吉田組



土居・今村組

吉田・吉岡組



#### 帯同した中村健次ナショナルコーチのコメント

男子13位、女子10位の成績はチーム結成間もないことを考えると健闘したと思います。しかし戦いを終えて、我々JSAF オリンピック強化委員会はまた「一歩前を見据えて」の判断をしなければならないと思います。そうしなければ世界には「到底ついて行くことが出来ない」からです。

2016 リオ五輪に向けた強化も当然ですが、その後を見据えた次世代選手の育成にも注力して行くつもりです。皆様のご期待に報いることが我々のミッションです。

## (2) 49er 級ヨーロッパ選手権大会

7月1日-7日まで、デンマーク・オーフスにて「49er 級ヨーロッパ選手権」が開催され日本から牧野・高橋組が参加しました。

開催期日: 2013年7月1日-10日

開催場所: デンマーク・オーフス

参加国・艇数: 25ヶ国 90艇

### ●日本代表選手

牧野幸雄・高橋賢次 トヨタ自動車東日本(株)

今大会はヨーロッパ最大規模のレースで、最もグレードの高い大会の一つで 25ヶ国90艇が参加して開催されました。

そのためもあって、大会へは各国から91艇の多くのチームが出場しました。

参加艇の中にはロンドン五輪へ出場した上位陣も勢揃いしており、まさに世界選手権と同等のハイレベルなレースとなりました。

### 総合成績

1位 Peter Burling Blair Tuke 【NZL】

2位 Dylan Fletcher Alain Sign 【GBR】

3位 Erik Heil Thomas Ploessel 【GER】

### 日本選手の成績

22位 牧野 幸雄 高橋 賢次組 (トヨタ自動車東日本)



### (3)RS:X 級ヨーロッパ選手権大会

7月2日-7日まで、フランス・プレストにおいてRS:X 級ヨーロッパ選手権が開催され日本から男女各2艇が参加しました。

開催期日:2013年7月2日-7日

開催場所:フランス・プレスト

参加国・艇数: 男子 27ヶ国 77艇

女子 23ヶ国 42艇

#### ●日本代表選手

男子

富澤 慎(トヨタ自動車東日本)

倉持 大也(関東学院大学)

女子

小嶺 恵美(ジェイウィルパートナーズ)

須長 由季(ミキハウス)



ゴールドフリートスタート前の攻防

今大会には、女子はロンドン五輪日本代表選手の須長由季、2013年ナショナルチームの小嶺恵美、そして男子はロンドン五輪日本代表選手:富澤 慎、大学生で2013年ナショナルチーム入りしたISAFユースワールド3年連続出場の倉持大也が参戦しました。

#### 総合成績

種目:男子RS:X 級 9.5

26カ国 78艇

1位 KOKKALANIS BYRON 【GRE】ギリシャ

2位 ZUBARI SHAHAR 【ISR】イスラエル

3位 Le COQ PLERRE 【FRA】

#### 日本選手の成績

18位 富澤 慎

71位 倉持 大也

種目:女子RS:X 級 8.5

24カ国 43艇

1位 SHAW BRYONY 【GBR】イギリス

2位 PICON CHARLINE 【FRA】フランス

3位 MANCHON BLANCA 【ESP】

#### 日本選手の成績

24位 須長 由季

29位 小嶺 恵美



プレストはクレープが有名、町のあちこちでクレープを焼いています。



トヨタサポート Car とコーチポート

#### 帯同した宮野幹弘コーチのコメント

ゴールドフリート入りした須長は若干の風の振れに他艇との位置関係を気にしてしまい、戦いで優先順位を忘れてしまったことが多く見られました。スタートの出方がよかっただけに、次大会までにこの課題を直すことが急務です。

男子ゴールドフリートの富澤は今大会 1 上までのコース取りに悩み、上位で回航することができませんでしたが、フリーの 2 上で順位を上げることができ予選、決勝共に安定した成績を取ることができました。1 上の順位を上げるにより、メダルレースへの出場も現実になると思います。次の大会に向けてこの点の重点練習が求められます。

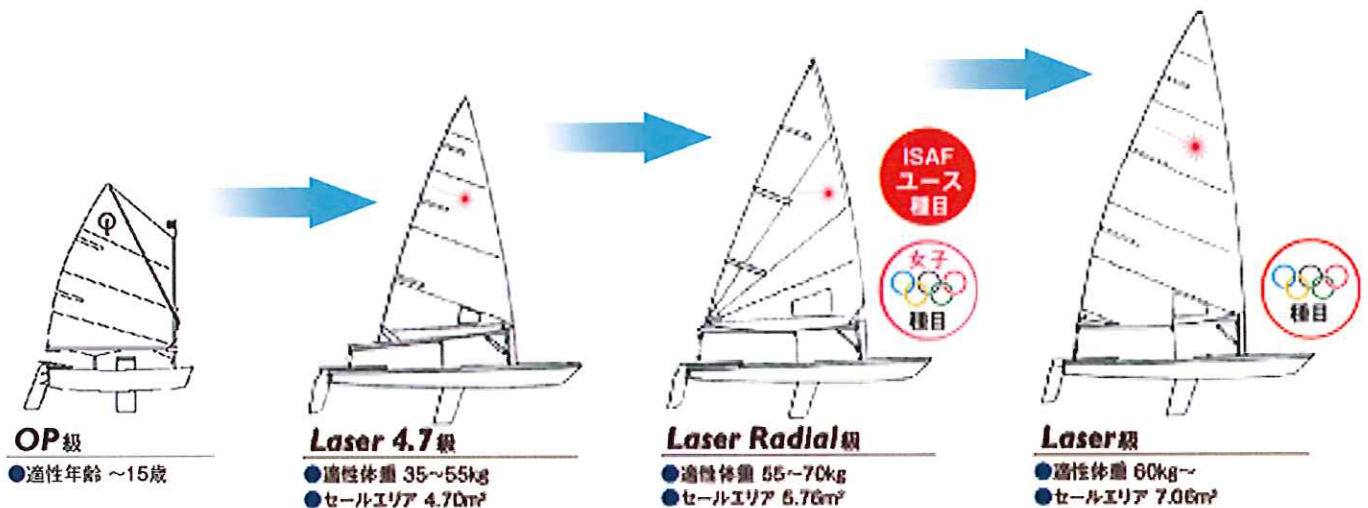
## 4. レーザークラスについて

### ISAF ユースワールドそしてオリンピック種目であるレーザークラスについてご紹介をさせていただきます。

レーザーは1972年カナダ人のオリンピック選手であるブルースカービー、イアンブルース、ハンスフォッグの3人により設計・制作され、誰でも同じ道具で競技できる安価な艇としてデビュー、現在世界で約100ヶ国21万隻に普及しているクラスです。

レーザースタンダードは1996年のアトランタオリンピックから男子一人乗り種目に、またレーザーラジアルは2008年の北京オリンピックから女子一人乗り種目として採用されています。

下のイラストにある通り同じ艇体にセール(帆)の大きさを変え 4.7 級、ラジアル級、スタンダード級に区分けされます。



#### 【4.7クラス】

セーリングの入門艇であるOPクラスを卒業したジュニアセーラーが次に乗る艇として我が国でも近年盛んになっているクラスです。

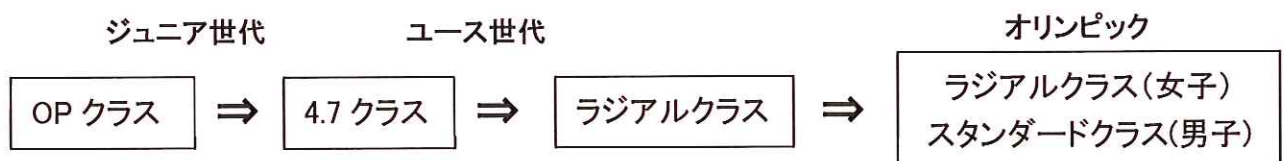
今年度の世界選手権大会には男子46ヶ国、女子32ヶ国 合計485隻が参加しました。

#### 【ラジアルクラス】

ISAF ユースワールド男女種目、またオリンピック女子種目であり、特に各国ともユース世代の育成に力を入れています。日本もその流れに取り残されない様に現在、育成・強化に取り組んでいます。

また今年から女子のU-21世界選手権が開催され、日本からも出場し4位の成績を収めました。

\* ジュニアからトップアスリートまでの流れは以下となります。



また、35歳以上(10歳きざみ)のマスターズワールドには世界中のベテランセーラーが生涯スポーツとして携わり同一の艇を使用、世代を超えた輪が広がっています。

## 日本における世界選手権大会の開催

日本は下記の通り1994年と2009年の2回以下の通りレーザークラスの世界選手権大会を日本で開催しています。

1994年

レーザークラス世界選手権大会

・開催期日:8月10日(水)～28日(日)

・開催場所:和歌山

・大会日程・参加国・参加艇数

8月10日～22日	マスターズ	15ヶ国	131艇
8月13日～28日	スタンダードクラス	28ヶ国	120艇
	ラジアルクラス男子	14ヶ国	82艇
	ラジアルクラス女子	8ヶ国	39艇

2009年

レーザーラジアルクラス世界選手権大会

・開催期日:7月25日(土)～8月10日(月)

・開催場所:唐津

・大会日程・参加国・参加艇数

7月25日～8月2日	女子	30ヶ国	88艇
8月3日～10日	男子	16ヶ国	61艇
	ユース男子	25ヶ国	100艇
	ユース女子	16ヶ国	39艇

## レーザー4.7クラス世界選手権大会日本開催

日本における3回目の世界選手権大会として来年8月に下記のレーザー4.7クラスユース世界選手権を開催することが決定され現在、準備を行なっています。

レーザー4.7クラスユース世界選手権大会2014

・開催期日:2014年8月8日(金)～15日(金)

・開催場所:唐津

・予定参加国・参加艇数 25ヶ国 130艇

日本には数多くのジュニアヨットクラブが存在し、優秀なジュニアセーラーが主にオプティミストクラス(OP級)で活躍しています。彼らの多くがその次のクラスとして4.7に取り組んでおり日本で開催される世界選手権に挑戦し、ステップUPしISAFユース選手権での勝利、そしてオリンピックセーラーに育ってみたいと考えています。

近年、アジア諸国の中で中国、シンガポール、マレーシアなどが重点的に一人乗りのクラスの強化に取り組む大きな成果を挙げています。

日本も取り残されることなくジュニア・ユース世代の強化に取り組んでいます。

数多くの選手が参加するチャンスのある日本開催の世界選手権大会にご注目ください。

## 5. 下期強化事業計画

ナショナルチームはリオオリンピック参加国枠獲得の掛かるスペイン・サンタンデールで開催される ISAF 世界選手権大会2014において全種目参加国枠を獲得、また JOC の競技団体評価に直結する2014年アジア大会で参加全種目金メダル獲得、またユースは ISAF ユース世界選手権での勝利に向けての下期の強化事業を推進いたします。

主な強化事業は下記の通りです。

### (1) ナショナルチーム

#### ① 海外遠征

・プレ ISAF 世界選手権大会 8月30日-9月15日 スペイン・サンタンデール

前述 2014年 ISAF 世界選手権のプレ大会です。

好成績を挙げることは無論ですが、海象、気象、生活基盤のインフラ等の調査・準備も重要な目的です。

・オリンピック種目別世界選手権

49er 級(男子)世界選手権大会 9月15日-29日 フランス・マルセイユ

49er FX 級(女子)世界選手権大会 々

レーザーラジアル級世界選手権大会 9月23日-10月7日 中国・リーチャオ

レーザー級世界選手権大会 11月9日-23日 オマーン・アルムサナー

#### ② 国内強化合宿

オリンピック種目毎のナショナルチームを中心とした国内強化合宿を複数回開催します

国内強化合宿は以下3つのコンセプトで取り組みます

1. オリンピックを目指すアスリートとして必要な基礎体力の更なる向上
2. 2013年世界選手権における各自の課題解決
3. セーリング競技規則(ルール)の理解力向上と応用力の発揮

#### ③ 海外強化合宿

ユース世代の有望選手も含みレーザーラジアル級のオーストラリア・パースにおける強化合宿を複数回計画しています

#### ④ 海外優秀選手招聘

470級の海外優秀選手を招聘、合同練習会を開催予定です。

#### ⑤ 国内競技会の開催

・江の島オリンピックウィーク 9月20日-23日 江の島ヨットハーバー

・2014年ナショナルチーム選考レース 12月10日-15日 和歌山セーリングセンター(NTC)

## (2)ユースナショナルチーム

### ① 海外遠征

ユース選抜チームオーストラリア遠征 1月3日-13日 オーストラリア  
日本への招聘との交流事業です

### ② チーム招聘 3月25日-29日 和歌山セーリングセンター

3月合同合宿時に交流事業としてオーストラリアユースチームを招聘します。

### ③ 国内合宿

- ・ユースナショナルチーム合同合宿 3月25日-29日 和歌山セーリングセンター(NTC)
- ・東日本、中日本、西日本 ユース水域合宿  
3水域でユース水域合宿を複数回開催します。
- ・東日本、中日本、西日本 コーチ派遣合宿  
3水域にコーチを派遣する強化合宿を複数回開催します。

### ④ ユースナショナルチーム選考会 3月25日-29日 和歌山セーリングセンター(NTC)

## おわりに

Vol.2としてナショナルチーム海外遠征を中心に報告させていただきました。

成果としては各遠征ともに現時点では決して満足いくものではありませんが、ロンドンオリンピックが終了し、新しいチームで取り組んだなかで明るい材料も多々あったと考えています。

今後、来年オリンピック参加国枠が掛かる ISAF 世界選手権大会と同一会場で開催されるプレ ISAF 大会の参加、ユース選手を含めた国内強化合宿、海外優秀選手の招聘等の強化事業を推進してまいります。

また今号では強化種目紹介としてレーザークラスをご紹介いたしました。次回の Vol.3では2015年からインターハイ、国体の種目に採用される420クラスを、その後470クラスをはじめとしたオリンピック種目の紹介をさせていただきます。

今後とも選手強化へのご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

JSAF 選手強化 ご協賛社 (順不動)



多大なるご協力を頂き、誠にありがとうございます。今後とも、日本のセーリング競技発展のため、何卒よろしくお願ひ申し上げます。